



クラウドナイン番神
藤谷 一平

FUJIYA IPPEI

1959年 埼玉県さいたま市出身
1988年 クラウドナイン鯨波をオープン
1991年 クラウドナイン番神をオープン

環境省が認定する「快水浴場百選」に認定されている柏崎市の番神海水浴場。海面に広がる岩盤や砂浜、赤い鳥居と青い空、海とのコントラストが美しい海岸だ。

この番神海水浴場で31年間、ペンションと海の家(浜茶屋)の営業を行う「クラウドナイン番神」の代表の藤谷一平さん。藤谷さんは家族と共に、5月から11月まではペンションと海の家。12月から4月までは苗場スキー場でペンションを営んでいる。

藤谷さんは高校時代、アルペンスキーに没頭し、スキーは1級の腕前。父はスキージャンプの選手だったそうで、スポーツ店や苗場スキー場でロッジを経営。父の会社に入社し、現在は2代目として家族と共に経営全般を担っている。

苗場スキー場のロッジ経営の傍ら、観光協会の仕事もしていた父の縁から、柏崎で海の家を営業することになった。冬は苗場スキー場、夏は柏崎で海の家、というように年間を通して営業できるという父の決断だった。1988年に柏崎で最初にオープンしたのは鯨波駅前のクラウドナイン鯨波。その3年後にオープンしたのがクラウドナイン番神だった。

その後、中越沖地震が起こり、被害の大きかったクラウドナイン鯨波のペンションは休業を余儀なくされた。現在は、クラウドナイン番神の営業に力を注いでいる。

番神海水浴場近くの海岸道路を車で通ると「ダイビングスクール」ののぼりが目に入る。日本海側に面した新潟県内で、ダイビングができるポイントというのは佐渡以外にあまりなく、実は番神海岸は貴重なダイビングスポットなのだ。

水深は消波ブロック周辺で4~10m。「稚魚の産卵する場所でもあるし、魚や海藻、ウミウシやダンゴウオなど海洋生物の観察にも適している」と話す。

藤谷さんは、ダイビングの資格も持つが、スクールや体験ダイビングなどのインストラクターは市内のダイビングショップ「雪ん子ダイブファクトリー」が担当する。クラウドナイン番神は、酸素ボンベなど器材の管理やダイビングをする人たちの拠点として大切な役割を担っている。

実は、番神海岸でダイビングができるようになるまでには長い道のりがあった。あま漁を行う漁協との話し合いや細かな取り決め、調整を重ね、手続きを経て体制が整ったのは6年前。多くの人たちの協力や理解もあり、信頼関係ができたおかげだと藤谷さんは胸をなで下ろす。

クラウドナイン番神では、海水浴の他、ジェットスキーや素潜りなどマリレジャーなどのアクティビティも提供。藤谷さん兄弟が手作りした、2棟分の広々とした海の家、おしゃれな外のテラス席も完成し、お客さんの訪れるシーズンを待ちわびている。



お問い合わせ

クラウドナイン番神

柏崎市番神2-10-33

☎0257-23-2826

営時 8時~16時(不定休)

*ダイビング、ジェットスキー、素潜りなどもお問合せください

